

(会議の経過) 第5回千種中学校区就学前の教育・保育検討委員会

発言者	議題・発言内容
事務局	※前回の会議録について、修正等がなかったことを報告し、市のホームページで公開することで確認いただく。
委員	協議事項「2）千種中学校区における目指す幼保一元化について」を事務局より説明を。
事務局	※次第2）について資料により説明
委員	これまでの協議の中で主だった意見をまとめたということだが、これについてみなさんの意見はどうか。
委員	幼保一元化の必要性のところ「保育園では4、5歳児が多かった。今まで、幼稚園に行っていた子が保育園に行くようになったのかなと思う」の部分だが、「親の就労の変化によって保育所に行く子が多くなった」のが要因で、単に保育園を選ぶ人が増えたということではないと思う。公立の認定こども園を作って欲しいと意見を出しても市は受け付けられないのか。
事務局	初回の会議でも、また市長の想いの中でもあったと思うが、市の大きな考え方に変更はない。従ってこの委員会でどうしても公立の認定こども園が欲しいとなったとしても、現段階ではそれは非常に難しいことであるとしか言えない。
委員	では公立の幼稚園、保育所のみで、社会福祉法人がない一宮北中学校区はどのように進めていくのか説明してもらいたい。
事務局	事務局の考え方としては、地域の中に社会福祉法人がない場合、市内の社会福祉法人に担い手になってもらうか、あるいは、他市町でも先例があるが地域で社会福祉法人を作ってもらうという手法も考えている。
委員	そういう地域を先に進めてもらい、見せてもらいたい。
委員	資料の「公立のこども園を順次整備していくことは、市としては難しいと考える」の部分だが、市全体を公立で順次整備するのは難しいけれど、千種町として要望すれば、千種町は公立にすることが可能ともとれるがどうか。
事務局	この委員会では、社会福祉法人を担い手の中心として、新たに認定こども園という仕組みを作っていくためには何が必要なのか、不安は何なのか、その辺りの協議をお願いしていると思っている。地域の意見は尊重させていただくが、現時点で公立のこども園を整備していくことは市としては考えていない。
委員	市は子どもの教育にお金をかけてやりたいという姿勢が見受けられない。市は経費の節減のことばかり考えているようである。この辺りに反発をしてしまうし、悲しく思う。
事務局	社会福祉法人が運営することが、保育、教育の質の低下に繋がるとは思っていない。この委員会で、幼児教育を担ってこられた先生方、社会福祉法人の保育所、保護者や地域の皆さんから色々と意見をいただき、新しい仕組みのこども園を作ろうとしている。これは決して保育、教育の内容を切り捨てようとしているものではない。経費の節減をするだけでなく、新しい幼稚園機能、保育園機能を備えていき、より良いものを目指そうとしている。
委員	幼稚園の子どもが徐々に減り、保育園の入所が増えてきている。幼稚園の人数が減ったのは、保護者のニーズに応えなかった経営者である教育委員会の責任。一宮では預かり保育を実施しているのに、千種は預かり保育がないのはおかしい。
委員	この検討委員会は、千種幼稚園がなぜ預かり保育をしてこなかったのかという

委員	<p>ことを追求する場ではなく、幼稚園と保育所をどのように一緒にしていくかを検討する委員会だと考えている。教育委員会のこれまでの運営に不満があるという思いは分かったし、今後責任を持ってやってもらわないといけないと思う。ただ、この委員会はそれを議論する場ではないと思う。</p> <p>現在、多くの方が杉の子保育園に4、5歳児を預けているということは、民間でも、保護者は大丈夫だということで預けられている面があるのだと思う。幼稚園の場所がもっと安全で良い場所であれば、幼保一元化の話は出てこなかったのでは。幼稚園の場所を変えて欲しいという意見があったから、安全な場所に移動させるために幼保一元化を計画したのではないかと思う。民間だからといって杉の子がダメなら、保護者は子どもを預けない。公民にこだわる必要はないと思う。どうしても公でなければいけないのであれば、この委員会では公立を希望するとの答申も仕方ないと思う。</p>
委員	<p>その方向で進めるならその方向で良いと思う。</p>
委員	<p>私は公でして欲しいとは思いますが、この委員会では、ここまでしたら千種として納得できるということ話しあっていくのだという考えには賛成。公か民かということに時間を取りすぎるのは無駄だと思う。クリアして欲しいことを意見として出して、話し合っていきたい。</p>
委員	<p>いろんな条件をクリアすることについて、それぞれの意見を出して欲しいと思う。今まで出た意見を取りまとめたのが2ページの「千種中学校区における認定こども園のあるべき姿」だと思うが、もっと要望する意見があれば出してほしいと思う。</p>
委員	<p>千種で初めての認定こども園ができれば、実栗市の前例になる。早く検討して早く進めるのではなく、納得したものを作らないといけない。ここでしっかり検討しないと、波賀、一宮、山崎では認定こども園は難しいということになり、千種だけ認定こども園になってしまうのではという不安がある。急いで決めてしまうようなことではないのでないか。</p>
委員	<p>模範となる例になるように検討していったらいいのでは。</p> <p>言われるとおり、いつも民か公かで会議の半分は終わってしまう。できる施設がどのようなものか、職員の人数、部屋の広さ、グラウンド、立地的な条件など具体的な話を進めていかないといけない。</p>
委員	<p>他の町には公立が残り、千種町だけ公立が無くなるということがないようにして欲しい。</p>
委員	<p>今子どもを杉の子に預けている。私は千種幼稚園を卒業したが、公にそこまでこだわるのが分からない。どちらも良いと思う。</p>
委員	<p>今なら公立、民間と選んで通わすことができる。選択肢がある。それが無くなり1つになるなら、いいものを作って通わせたいという話なのだと思う。</p>
委員	<p>クリアしたい要望事項で、ここに挙げてある以外で意見があれば出していただきたい。千種を1番最初にする必要はないという意見もあると思うし、モデルになったら良いのではないかという意見もあると思う。</p>
委員	<p>女性が働く機会が増えているということで、保育園に預ける人が増えて、幼稚園の人数が減り、幼稚園が成り立たなくなってくる。全体の子どもの人数も減っており、できれば早く進めて欲しいと思う。</p>
委員	<p>次回の協議資料を前もって議事録の確認分等といっしょに送ってくれたら会議で意見も出しやすいと思う。</p>

委員	子どものために人事交流や研修が大切になってくると思う。それが質の向上に繋がると思う。千種が認定こども園になったら、どこと交流するのか。
委員 事務局	それは市が責任を持って考えてくれるということで、条件の中に出している。職員の研修や人事交流というところは、教育、保育の質を向上させる大切な部分になると思う。現在、民間の保育園と公立の幼稚園で交流も行っている。もっと人事交流をする環境を作っていく必要があり、それは十分認識している。
委員 事務局 委員	千種だけが民間の認定こども園になるということをしごく心配している。そうならないようにするのが、事務局の仕事だと思っている。
事務局	先日、一宮北中学校区で第2回目の会議を傍聴した。幼保一元化と学校規模適正化の委員のメンバーが同じで、学校規模適正化のほうを取り上げて幼保一元化の問題を取り上げないという話であった。他の地域は小学校の問題の方を主に取り上げている。地域により進め方のスピードが違う。
委員	地域によりスピードや議論の熟度は違う。一宮北は学校規模適正化からまとめいき、そうすることにより必然的に幼保一元化も進んで行かろうという話になった。波賀では今度公立と民間の認定こども園を視察に行く。どこの地域でも検討していないのではなく、熟度の差はあるけれども、協議は進んでいる。
委員 事務局	仮に千種が市内で1番最後になった場合、今のままの状態幼稚園を残すことになるのか。 認定こども園の話が進まないということであれば、基本的には今のスタイルがその間続くことになると思う。
委員	例えば10年先になったとしたら、千種の子どもは本当に少なくなっているだろう。子どもがいなくなってからでは認定こども園にしたいとしても費用も出してもらえない可能性がある。今のままで我慢して欲しいという話になると思う。
委員	教育委員会が千種の現状を踏まえて、千種から最初に進めようという話になっているのだから、妥協できることは妥協して進めていったらいいのではないのかと思う。計画どおりにすすめたらいいと思う。
委員	社会福祉法人が認定こども園の担い手になった場合の要望や意見を出していただけたらと思う。千種地区幼保一元化協議会ができて、地域・保護者・社会福祉法人・行政が一体になるスタイルがしっかりできれば、これまで検討してきたことや、いろんな問題点をクリアできるような認定こども園にしていけるのではないのかと思う。その辺りも踏まえて意見をいただきたい。
委員 事務局	ここで方向性が決まったら、協議会が別に新しく組織され、今までしてきたことを再度、検討していくことになると思うが、そこで運営について再度、具体的に協議されるのか。我々の立場はあくまで検討委員会だと思っているが。担い手はどこなのか、場所はどこなのかを決めてもらえれば、それが地域の大きな方向性になるだろうと思う。それを受け、教育委員会として検討し決定させてもらう。その後、協議会を作り、認定こども園を開設するための具体的な協議をする。例えば職員の交流・派遣の方法や、担い手が行政に求めるもの、行政が提供できるもの、様々なことを開設までに決めなければいけない。行政と担い手だけで決めるのではなく、保護者や地域の方にも入っていただき、新しい仕組みを作っていくのが協議会だと思っている。
委員	この委員会がなぜできたかという、場所や運営主体について結論がでず、千種の地域で検討したらということできたとする。先生の交流や研修は次の協議会で検討することで、意見として出されたことは良いと思うが、ここでは場

委員	所であるとか大きな方向性を決めていったらいいと思う。
委員	しかし、具体的な協議があってこそ、場所や運営主体の検討ができると思う。こんなことが必要だから、こういう場所、運営主体というようにしていかないと、先にそれを決めてしまうと方向が限定されてしまう。
事務局	いろいろな問題をクリアできる認定こども園ができるなら、この委員会で考えて意見を出していったら良いと思う。場所や時期的なものだけ決めるのではなく、そこまでに条件を出し、クリアできる認定こども園を目指して協議していきたい。社会福祉法人を担い手にできるかを協議していく段階にしていきたい。例えば新しく園舎を建てるとしたら、いつから開園できるのか。
委員	新たな場所となると、市有地ならば用地買収の問題はないが、民有地だと用地買収が必要。交渉次第だが、難航すれば少なくとも1年間はかかると考えている。用地交渉が長引けばそれだけ延びる。少なくとも建物の建設に1年は必要。最短で平成26年の春開園だと思う。
委員	現状、幼稚園の子ども的人数が少ないというのが1番の問題。少人数で良いことももちろんあるが、少しでも早く大人数だと思う。新しい建物でというのは最低限の条件としてお願いしたい。通園はバスと言われていたが、急に子どもの送り迎えが必要になることもあるので、ある程度の広さの駐車場を用意していただきたい。
事務局	市の全体会議で策定しているガイドラインやこども指針ができて協議を進めるのではないのか。
委員	ガイドラインができてきてから協議をというご意見もあった。現在、3部会に分かれて、それぞれ3回会議が終了した。その意見を集約する中でたたき台を作ろうとしており、まだ正式なものにはなっていないが、骨子は見えてきており、再度出た意見を整理しているところである。もう少しお待ちいただかないとお示しできない状況である。また地域の委員会で出た意見がガイドライン等へ反映させていく内容にもなってくると考えている。
事務局	この委員会で検討したことはガイドラインに含まれているのか。
委員	全てではないが、小学校へのつながりや職員の研修・交流など、大きなところは含まれていると考えている。
事務局	指導についてはどうか。教育委員会がきちんと指導していくということか。
委員	そういった内容も含め、基準やガイドラインを決めていくことになる。先生方にとっては教育委員会の指導といわれたら、教育・保育の質を担保するようと思われるかもしれないが、一般の方には分かりにくいと思う。指導には、される側とする側があるが、新しい仕組みの中では指導というより、一緒に高めあっていけたら良いというイメージを考えている。もちろん担い手にも、このような思いを持ってもらわないといけないと思う。
委員	ガイドラインはまだということだが、我々が今まで検討してきたことは、千種中学校区でどのような認定こども園ができたかということなので、千種中学校区として検討し、要望した意見をまとめていきたい。
委員	市のガイドラインを見てから検討していったほうが良い。
委員	ガイドラインがいつできるのかは分からないが、この委員会で12月中を目途に方向性を決定するのは早いと思うので、中間報告という形で良いのではないかなと思う。こども指針、運営のあり方、質の向上部会があって、今、思いつかない意見も出ていると思うので参考にすればいい。そういったものを抜きにして

委員	安易に決定してしまうのはどうかと思う。
委員	それぞれ地域性が違うので千種は千種で良いものを出せたら良いのではないかなと思う。ガイドラインにこだわらなくても良いと思う。
委員	しかし市のガイドラインを参考にすることで、更にいいものができるのではないかな。
委員	ガイドラインに沿わないところの、要望の部分をここで決めていったらいいのではないかな。
委員	1度、視察に行ってみようか。子どもと一緒にしていこうということが決まったなら、参考に部屋の大きさや位置、調理室なども見に行ったら良いと思う。
委員	前回までは視察については、あまり賛成は得られなかったように感じる。細かい場所や広さについては具体的な協議をする協議会でしてもらえたらいいのではないかなと思うが。
委員	建物の基準は法などで決まっているのだろう。それに基づき設計してもらえれば良いと思う。
委員	幼保一元化は大変なこと。ソフトの部分は分からないところなので、苦労された関係者の話を聞いてみるべき。失敗したら犠牲になるのは子どもである。
委員	これから、みんなで作り上げていくものだと思っている。ここをどうしよう、あそこをどうしていこうと、教育委員会や社会福祉法人だけに任せておくだけではなく、保護者や地域が1つになり千種の認定こども園を作り上げていこうという姿勢があれば、子どもが犠牲になるような認定こども園はできないと思う。
委員	波賀の地域委員会ではどこへ視察に行くのか。
事務局	波賀は朝来市の公立の竹田こども園、豊岡市の社会福祉法人のこふくこども園に行く。
委員	丹波市のよしみこども園は社会福祉法人で、市や教育委員会が力を入れている。朝来の生野こども園は公立で、子どもの幼児教育・保育を大切にしたいとのことで力が入っていて、病気の子のために看護師がついている。現場を見ることも大事だと思う。
委員	看護師を配置することも要望していけば良いと思う。
事務局	丹波市の方でも社会福祉法人が運営している認定こども園で、病気の時でも預かれる保育をしているところがあり、看護師や養護教員を配置している。それは市が支援する中で実施している。
委員	認定こども園に視察に行くという話が出ているがどうか。
委員	波賀では在宅の保護者の方や小さい子どもがいる方はどうしたのか。
事務局	子ども連れで行けるよう準備を進めていたが、結果的には誰かに預けて参加されることになった。
委員	波賀の方が視察に行くにあたって、視察のポイントはありますか。
事務局	事前に聞きたいことをまとめて個々に事務局に提出してもらい、事務局でまとめて、視察に行くまでにこども園に送らせてもらった。
委員	千種の委員会で行くなら同じようにして欲しい。
事務局	もし全員参加が難しいようであれば、代表の方が参加というやり方もある。
委員	資料には、発達年齢に応じた、それぞれの年齢毎のクラス編成による幼児教育など色々と示してあるが、文章ではイメージしにくい。実際に見に行けばこども園をイメージしやすくなると思う。

事務局	施設には定められた最低基準があり、それが基本になる。資料に挙げている要件は、視察する認定こども園がどこも必ずこのコンセプトで運営、建設されているということではなく、これは千種で出た意見ということは認識しておいていただきたい。
委員	それでは視察に行く方向で進めさせていただいてよろしいか。日程や場所は事務局にお願いすることよろしいか。
事務局	最短で今月末になると思う。11月中旬ぐらいでどうか。
委員	視察に行き、具体的な現場を見て、話を聞いて検討していくことになる。できれば12月にはある程度の方向性を出し、そこで千種の委員会として社会福祉法人を担い手にするのかなども決めていく、そのような心づもりでお願いしたい。
委員	視察に行くまでに、質問をいつまでに提出するかの期日を決めた方がいいのではないか。
事務局	来週の金曜日までに、事務局にFAXか、まちづくり推進課に持参をしていただくことでどうか。
委員	どこに視察に行くか希望はあるか。
事務局	先ほど意見のあった丹波市だと距離的に1か所になる。
委員	第1回の会議でも言ったが、相生、福崎、加西を訪問するのが良いと思う。
委員	公立の幼稚園と民間の保育園が一緒になったところが良いと思う。
事務局	千種のような条件の所で、規模的にも似たところを探す。質問の様式を郵送で送らせてもらうので、FAXかまちづくり推進課に持参していただきたい。
委員	期日までに事務局に送ってもらいたい。
委員	事務局にお願いだが、前回、会議を欠席していたのだが、議事録や次回開催の案内といっしょに会議の資料も送ってもらいたい。
委員	次回の開催日は視察の日程により決めさせていただく。また、認定こども園についても、今までに出た意見の他にここをこうして欲しいという要望等があれば検討して考えておいてもらいたい。